

令和6年第3回 曾於市議会定例会

一般質問通告一覧表

質問者	【通告第1】 徳峰 一成 議員	
質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1 市民の暮らし守れの取り組みを	市内は、とくに農村地域は、こどもがいない、人口減少と高齢化が進み、活気が失われている。低年金者や年収が少ない市民が多く、格差の進行がみられる。 五位塚市政は、市民の命と暮らしを守ることを優先課題に取り組んでいただきたい。 その立場で、次の項目について、現状認識と解決すべき課題についてお聞きしたい。 ① 市民の暮らしの現状と解決すべき課題。 イ 直近の市民の一人当たり所得について、近隣の都市、三股町、志布志市、大崎町を含めて聞きたい。 ロ 市民所得を増やす対策で、とくに解決すべき課題、とくに力を入れたい課題を聞きたい。 ② 高齢者の現状と解決すべき課題。 イ 直近の一人暮らしの高齢者、あるいは身よりのいない高齢者は何人か。 ロ 上記の高齢者対策で、とくに解決すべき課題を聞きたい。 ③ 年金受給数の現状と解決すべき課題。 イ 直近の年金受給者と一人当たり受給額を、以下のランクに分けて聞きたい。 50万円以下、50～80万円、80～130万円、130～200万円、200～250万円、250万円以上。 ロ 曾於市は近隣の自治体に比べ、(相対的に)低年金受給者が多くないか、聞きたい。 ④ 税、保険料の現状と解決すべき課題。 イ 令和6年度の1号被保険者数について、そのなかで収入の1割をこえる介護保険料を払っている市民は何人か。さらにもっとも高い市民は収入対比何パーセントか。	市長

	ロ 保険料軽減の対策として、国保税にならって、令和7年度から介護保険会計に一般会計から市独自の繰り入れを行ったかどうか。 ハ 令和6年度国保税が収入の1割をこえる被保険者は何人か。もっとも高い市民は収入対比何パーセントか。合わせて被保険者数を聞きたい。 ニ 令和5年度国保会計で市独自の繰り入れをしたことで、一人当たり負担軽減額はいくらか。 ホ 令和7年度から、国保税算定では平等割を廃止、見直しをすべきではないか。 ⑤ 生活保護の現状と解決すべき課題。 イ 2014年（平成26年度）、2019年（令和元年度）、2024年（令和6年度）生活保護受給者数とその内訳（年齢区分を含む）を聞きたい。 ロ 曾於市の受給者は全国の自治体にくらべ相対的に少ないではないか。さらに減少傾向である。これらの理由と背景について聞きたい。とくに、どの点がネック（障害）となっているのか。 ⑥ 医療、福祉の現状と解決すべき課題。 イ 令和5年度、入院したことがある市民の数、そのなかで65歳以上の市民について、それぞれ聞きたい。 ロ 令和5年度、高齢者福祉施設に入所している市民の数（実数）を聞きたい。 ハ 上記のイ、ロについてはご家族に対する支援のあり方を含め、今後解決すべき課題があるではないか。市の方針と対策を聞きたい。 ⑦ 商業者の現状と解決すべき課題。 イ 合併当時（平成18年）と令和5年の小売店数を聞きたい。 ロ 小売店は振りかえるまでもなく、この19年間に大きく減っているではないか。現在後継者がみられる小売店の店舗数を聞きたい。 ハ 今後も小売店が減少するなら、地域経済や活性化に大きな打撃となる。市の方針と実効ある対策を聞きたい。	
--	--	--

2 PFAS汚染、市は対策を	発がん性が指摘される有機フッ素化合物のPFAS（ピーファス）について、以下の提案を含む質問をしたい。 イ ピーファスにかかわる各担当課の職員の研修の重要性について。 ロ 市内部の横断的な組織の立ち上げと、そのもとでの実態調査を含む方針と対策を市民と議会に示すこと。 ハ 市民への広報と周知の継続的な取り組みの必要性について。 ニ 早急に必要な予算を組み、水道水などの実態調査を行うこと。 以上4項目の所見を聞きたい。	市長
-----------------------	--	-----------

令和6年第3回 曾於市議会定例会

一般質問通告一覧表

質問者	【通告第2】 上村 龍生 議員	
質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1 各種事業費の財源としての地方債について	各種事業を行う場合、国・県支出金や地方債・一般財源等の確保ができなければ事業の計画はできない。財源の中で地方債について全般的な質問を行います。 ① 例えば、市道整備を行う場合の財源としての地方債の種類とその内容を説明してください。 ② 市道整備にかかわらず、市に有利な地方債について説明してください。 ③ 地方債の限度額についての考え方と現状を説明してください。 ④ 各種事業費で当該年度の執行残が出た場合の全般的な処理について説明してください。	市長
2 子育て支援策について	① 子育て支援策の一環として学校給食費の保護者負担全額補助が今年度から開始されましたが、具体的な補助手続きについて説明してください。 ② 今後の補助額の推移予測を説明してください。 ③ 子育て支援策で修学旅行の全額補助がある。曾於市内の児童生徒に全額補助した場合の試算額を説明してください。	教育長

令和6年第3回 曾於市議会定例会

一般質問通告一覧表

質問者	【通告第3】 土屋 健一 議員	
質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1 農地の将来について	① 農業の担い手の高齢化、減少化をどのように受け止めているか。 イ 現在の経営体数はいくらか。 ロ 65歳以下の専従者がいる経営体数はいくらか。その割合はいくらか。 ハ 経営体の年齢別世帯員数を報告してください。60歳以上の割合はいくらか。 ② 畑かん（曾於北部、曾於東部、大隅南）のそれぞれの受益面積、受益戸数、総事業費を報告してください。 ③ 肉用牛と乳用牛それぞれの経営体数、市全体の飼育頭数、平均飼育頭数を報告してください。 ④ 後継者対策、新規就農者対策等担い手確保に関わる事業とその成果を示してください。	市長